

「みんなでつくる みんなの愛顔が輝く学校」

校長 今泉 淳子

4月8日、登校する児童たちの挨拶が空高く響き渡りました。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。令和7年度、2名の1年生を迎え、全校児童40名と教職員総勢14名でのスタートです。

私は、平成30年度から5年間、保内中学校に勤めておりました。その初年度、総合的な学習の時間において「国際理解コース」を受け持ちました。「保内町の様々な場所を海外の方に英語で紹介しよう」という取組を行ったのですが、グループの一つが日土小学校を紹介することを希望しました。もちろん、日土小出身者で構成されたグループでした。その際に、この学校にメンバーと取材訪問させていただき、メンバーの中学生から、詳しく、熱く、日土小について教えてもらったことを今でも覚えています。縁あって、この学校で日々を過ごすこととなりました。この出会いに感謝です。

今年度の教育目標は、「つながりの中で たくましく生きる日土っ子を育てる」です。今、世の中は、変化が激しく未来の予測が難しい、予測不可能な時代と言われております。子供たちが「今」だけでなく、「将来」にわたって自分らしく輝いていくためには、「たくましさ」というものが重要なカギとなると考えています。ここで伝えたい「たくましさ」とは、「どんな場面に直面しても柔軟に対応でき、自分の発想力と力で課題を乗り越え、夢や目標の実現に向け挑戦し続ける。」ということです。そのためにも、

「愛顔」には、人と人との助け合い、支え合いの根底にある「愛」と、困難にくじけることなく挑戦し、道が拓けた時にこぼれる「笑顔」が結ばれて生まれた言葉。どのような困難も克服する前向きな気持ちと、思いやりの心が結集した、愛のある笑顔のこと。

<第1学期始業式式辞 一部抜粋>

今年度のスローガンは「みんなの笑顔が輝く魅力あふれる学校づくり」とします。「みんな」とは、児童の皆さんや先生たち、保護者の方、地域の方、その他日土小学校に関係のある人全員です。ただし、その中心はもちろん、この後入学する1年生も含めて、君たち日土小学校の児童一人一人です。

では、「みんなの笑顔が輝く魅力あふれる学校」ってどんな学校でしょう。どんな子供がいて、どういう状態であれば、みんなの笑顔が輝くのでしょうか。その最大のヒントは、やっぱりこれ（校訓）です。まずは、主役の君たち一人一人が「明るい子」「考える子」「強い子」に本当になれるように成長していかなければなりません。つまり、本物を目指すのです。そして、本物を目指すにはコツがあります。それは・・・入学式で話します。入学式の話もしっかり聞いてください。

<入学式式辞 一部抜粋>

さて、今日は、校長先生から1年生の皆さんに、頑張ってもらいたいことを一つだけお話しします。それは、「失敗を恐れず、力いっぱい頑張る」ということです。実は、これこそが、先ほど始業式で2年生以上に話した「本物を目指すコツ」なのです。1年生を含めて全校の皆さん、「失敗を恐れず、力いっぱい頑張る」と約束できますか。それでは、みんなで指切りげんまんをしましょう。（指切りげんまん、嘘ついたら針千本飲～ます。指切った。）

どうかこの式辞に込めた思いをお汲み取りいただき、今年度も学校・家庭・地域が同じ方向を向き、連携・協力しながら子供たちをしっかりと育て、今以上に日土小学校を「みんなの笑顔が輝く魅力あふれる学校」にしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。